

令和7年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会が定めた静岡県地域公共交通計画に位置づけられた補助対象系統（地域間幹線系統）について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

2 評価項目

評価の観点	評価項目	説明
補助基準	運行回数	実績運行回数が補助要件を満たしているかを評価
	輸送量	実績輸送量が補助要件を満たしているかを評価
実施状況	収支率	実績値を評価(収支率 50%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+5%以上満点)
幹線性・広域性	ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点数及びバス停数を評価(10点満点)
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(50%以上満点)

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評価	内容
A (86点以上)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (66～85点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (51～65点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する
D (0～50点)	地域間幹線系統として見直しの検討を要する

3 事業評価結果の概要

全体評価：B（参考：R6：B）

- ・評価対象系統全59系統中、A評価：23系統、B評価：30系統、C評価：2系統、D評価：4系統
- ・平均点数が80.9点であることから、全体評価を『B』とした。
- ・各系統の評価結果は別添「令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	補助基準(40点)		実施状況(40点)		幹線性・広域性(20点)		点数	評価					事業者平均	全体評価			
		運行回数 (10点)	実績輸送量 (30点)	収支率 (15点)	乗車人員 (15点)	ネットワーク (10点)	広域トリップ (10点)		A	B	C	D	計					
									86~100	66~85	51~65	0~50						
山梨交通	1 富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	10	5	15	12	3	15	6	5	11	41				○	1	41.0	B [全体評価の理由] ・平均評価点数が80.9点である。
秋葉バスサービス	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	10	5	15	3	20	23	10	5	15	53			○		4	77.7	
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	10	30	40	12	20	32	10	5	15	87	○						
	4 秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	6	8	14	86	○						
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	5	8	13	85		○					
遠州鉄道	6 浜北医大三方原聖隷	10	30	40	12	15	27	10	8	18	85		○			16	78.7	
	7 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	10	30	40	15	6	21	7	5	12	73		○					
	8 中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	10	30	40	20	15	35	9	5	14	89	○						
	9 秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	10	5	15	6	3	9	7	8	15	39				○			
	10 磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	10	30	40	20	6	26	8	10	18	84		○					
	11 磐田天竜線(ららぽーと経由)	10	30	40	15	6	21	8	8	16	77		○					
	12 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	10	30	40	20	15	35	9	8	17	92	○						
	13 内野台線(内野台車庫)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○					
	14 内野台線(サンストリート浜北)	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○						
	15 磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	10	5	15	12	6	18	5	8	13	46				○			
	16 引佐線	10	30	40	20	15	35	10	5	15	90	○						
	17 萩丘都田線	10	30	40	20	3	23	10	5	15	78		○					
	18 大塚ひとみヶ丘線	10	30	40	20	3	23	10	0	10	73		○					
	19 気賀三ヶ日線	10	30	40	20	6	26	10	5	15	81		○					
	20 奥山線	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○					
	21 掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	10	30	40	20	20	40	8	5	13	93	○						
しずてつジャストライン	22 三保草薙線	10	30	40	20	15	35	10	2	12	87	○				11	77.8	
	23 五十海大住線	10	30	40	15	20	35	10	8	18	93	○						
	24 焼津岡部線	10	30	40	15	20	35	6	10	16	91	○						
	25 藤枝吉永線	10	30	40	15	3	18	10	8	18	76		○					
	26 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	10	5	15	12	3	15	10	10	20	50				○			
	27 島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	3	15	10	10	20	75		○					
	28 藤枝相良線	10	30	40	15	3	18	10	10	20	78		○					
	29 菊川浜岡線	10	30	40	20	3	23	5	8	13	76		○					
	30 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	10	30	40	12	3	15	9	10	19	74		○					
	31 掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
	32 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	10	0	10	12	20	32	4	10	14	56			○				
	富士急モビリティ	33 御殿場線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70		○				
34 駿河小山線		10	30	40	20	3	23	10	10	20	83		○					
35 十里木線		10	30	40	15	3	18	8	10	18	76		○					
36 河口湖線		10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
富士急バス	37 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○				2	100	
	38 新富士線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
富士急静岡バス	39 曾比奈線	10	5	15	20	20	40	8	10	18	73		○			4	78.2	
	40 大淵線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70		○					
	41 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95	○						
	42 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75		○					
富士急シティバス	43 駿河平線	10	30	40	20	3	23	8	8	16	79		○			6	82.5	
	44 須山線(三島駅～須山)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○					
	45 原線	10	30	40	12	6	18	10	2	12	70		○					
	46 桜堤線	10	30	40	20	6	26	7	10	17	83		○					
	47 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	10	30	40	20	20	40	6	5	11	91	○						
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	15	35	8	8	16	91	○						
伊豆箱根バス	49 沼津大岡三島線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○				3	89.3	
	50 長岡伊豆三津シーパラダイス線	10	30	40	20	15	35	7	8	15	90	○						
	51 沼津静浦長岡線	10	30	40	20	6	26	7	5	12	78		○					
東海バス	52 石廊崎線	10	30	40	20	20	40	7	10	17	97	○				8	87.3	
	53 天城峠線	10	30	40	20	6	26	10	8	18	84		○					
	54 戸田線	10	30	40	20	3	23	7	8	15	78		○					
	55 西海岸線	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95	○						
	56 バサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83		○					
	57 バサラ峠線(下田駅～宇久須)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75		○					
	58 下賀茂線	10	30	40	12	20	32	7	8	15	87	○						
	59 柿田線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
計											80.9	23	30	2	4	59		

地域間幹線系統項目別評価一覧表（輸送量）

事業者名		系統名	R5実績	R6実績	R7実績	備考
山梨交通	1	富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	20.6	19.5	19.5	R8.1～退出
	2	秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	19.8	14.5	19.2	
	3	秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	56.7	58.5	59.5	
	4	秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	22.1	24.6	24.6	
	5	秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	54.8	53.7	63.4	
遠州鉄道	6	浜北医大三方原聖隷	25.0	20.4	21.7	
	7	磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	27.2	24.9	24.9	
	8	中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	85.5	80.0	81.4	
	9	秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	21.7	25.0	19.1	
	10	磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	28.4	25.9	24.9	
	11	磐田天竜線(ららぽーと経由)	61.4	59.6	55.3	
	12	掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	19.6	20.5	22.1	
	13	内野台線(内野台車庫)	46.2	42.3	40.0	
	14	内野台線(サンストリート浜北)	49.0	36.1	46.2	
	15	磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	21.7	19.4	17.6	
	16	引佐線	71.2	66.5	66.5	
	17	萩丘都田線	29.5	28.5	27.5	
	18	大塚ひとみヶ丘線	85.5	93.8	83.4	
	19	気賀三ヶ日線	61.0	65.3	63.6	
	20	奥山線	92.1	107.3	104.3	
	21	掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	137.7	130.3	137.7	
	しずてつジャストライン	22	三保草薙線	40.4	39.9	41.6
		23	五十海大住線	26.7	25.2	29.9
		24	焼津岡部線	54.0	50.1	57.2
		25	藤枝吉永線	45.3	57.2	44.9
		26	島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	23.1	25.6	19.2
27		島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	26.6	23.8	20.4	
28		藤枝相良線	55.4	59.6	49.9	
29		菊川浜岡線	38.0	46.5	45.0	
30		掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	24.6	42.9	37.7	
31		掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)	37.2	33.5	32.3	
32		掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	31.9	6.7	11.3	R7.10～「30掛川大東浜岡線」と統合
富士急モビリティ		33	御殿場線	30.0	24.5	18.5
	34	駿河小山線	31.8	34.4	27.2	
	35	十里木線	25.4	30.0	24.3	
	36	河口湖線	21.6	23.4	28.8	
富士急バス	37	河口湖線	74.0	79.2	81.0	
	38	新富士線	17.7	25.5	27.9	
富士急静岡バス	39	曾比奈線	16.1	15.1	15.6	
	40	大淵線	16.7	15.5	15.5	
	41	大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	85.1	79.2	81.1	
	42	大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	17.4	15.3	15.6	
富士急シティバス	43	駿河平線	45.9	30.5	22.6	
	44	須山線(三島駅～須山)	34.8	31.0	26.4	
	45	原線	31.9	31.5	24.3	
	46	桜堤線	54.9	58.8	53.5	
	47	がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	26.4	24.2	21.8	
	48	がんセンター線(三島駅～がんセンター)	58.5	37.3	39.2	
	49	沼津大岡三島線	126.5	118.2	137.8	
伊豆箱根バス	50	長岡伊豆三津シーパラダイス線	76.1	68.5	69.2	
	51	沼津静浦長岡線	149.4	135.0	135.7	
東海バス	52	石廊崎線	48.0	46.5	60.0	
	53	天城峠線	39.0	40.0	48.0	
	54	戸田線	26.6	37.8	25.5	
	55	西海岸線	54.4	58.9	59.8	
	56	バサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	44.0	48.8	48.8	
	57	バサラ峠線(下田駅～宇久須)	27.9	23.6	19.3	
	58	下賀茂線	—	22.7	20.5	
	59	柿田線	—	72.0	80.4	
計(平均値)			46.0	45.0	44.7	

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
株式会社東海バス	石廊崎線	下田駅	休暇村	石廊崎オーシャンパーク
系統キロ程	関係市町			
22.4 km	下田市	南伊豆町		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	15.0 回/日	10	15.0 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	60.0 人/日	30	46.5 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	61.7 %	20	51.6 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	96,725 人	20	90,036 人
		計画	90,036 人		66,018 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	1 箇所	7	1 箇所
		乗継バス停	5 箇所		5 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	52.0 %	10	49.2 %	

補助基準	40 /40
実施状況	40 /40
幹線性・広域性	17 /20
合計	97 /100

評価指標

A

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	伊豆急行線の下田駅から南伊豆の休暇村を経由し石廊崎港までを結ぶ路線であり、南伊豆町の南崎地区から下田市内への通院、通学や下田駅から南伊豆方面への観光利用、また、南伊豆町内の小学生、中学生の通学の足としての運行が目的である。 下田市と南伊豆町の境となる「銭瓶峠」を越える利用は、全体の半数程度であり、そのうち、通勤、通学、通院等を目的とした地元客が約6割、残り4割は、観光来遊客となっている。また、「銭瓶峠」を越えない短距離利用は、南伊豆町内の小中学生の通学利用が大半を占めている。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 伊豆急行線伊豆急下田駅
	(乗継ぎバス停) 広岡、下田メディカルセンター、吉佐美、日野、石廊崎港口
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 下田メディカルセンター、伊豆下田診療所、みなとクリニック、下田とうきゅう、マックスバリュ下田銀座店、フードストアあおき広岡店、伊豆急行線伊豆急下田駅、下田市役所

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 3. 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4. 高齢者定期券（伊東地区：ゆうゆうバス、中伊豆地区：いきいきバス、沼津地区：楽々バス）を引続き発売し、高齢者の利用促進及び高齢者福祉を図っている。 5. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6. 下田駅、下田メディカルセンター、石廊崎オーシャンパーク等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 9. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーパスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。 12. 引き続き、バス停デザインの統一化に取り組み、バス停コードを付与すること等により、「わかりやすいバス」を推進する。 13. 2023年12月に運賃改定を実施。
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1. エコドライブ(省燃費運転)を継続して取り組み経費抑制に努めている。 2. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
株式会社東海バス	下賀茂線	下田駅	—	下賀茂
系統キロ程	関係市町			
11.7 km	下田市	南伊豆町		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	9.8 回/日	10	9.8 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	20.5 人/日	30	22.7 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	37.0 %	12	43.6 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	37,250 人	20	32,059 人
		計画	32,059 人		31,511 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	1 箇所	7	1 箇所
		乗継バス停	5 箇所		5 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	32.1 %	8	53.7 %	

補助基準	40 /40
実施状況	32 /40
幹線性・広域性	15 /20
合計	87 /100

評価指標

A

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	当該路線は、伊豆急行線の伊豆急下田駅から下田市と南伊豆町の境である銭瓶峠をとおり、途中の日野までは地域間幹線系統である石廊崎線と同一経路ですが、そこから南伊豆町の中心で役場のある下賀茂までを結ぶ系統です。日頃は、通学、通院、買い物等の利用が主となっておりますが、下賀茂温泉への観光利用もあり、特に、2月から3月にかけてのみなみのさくらまつりの際は、観光客が増加する路線です。鉄道のない南伊豆町から下田駅までを結ぶ系統であり、住民にとっての移動手段として、重要な役割を担っており、欠かすことの出来ない路線となっております。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 伊豆急行線伊豆急下田駅
	(乗継ぎバス停) 広岡、下田メディカルセンター、吉佐美、日野、下賀茂
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 朝日小学校、南伊豆東中学校、南伊豆東小学校、下田高校南伊豆分校、南伊豆小学校、下田メディカルセンター、伊豆下田診療所、ふれあい南伊豆ホスピタル、飯島医院、はらクリニック、下田とうきゅう、フードストアあおき広岡店、マックスバリュ下賀茂店、下田市役所、南伊豆町役場、下田税務署、静岡地方裁判所下田支部、下田市立図書館、下田市民文化会館、伊豆急下田駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 3. 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4. 高齢者定期券（伊東地区：ゆうゆうバス、中伊豆地区：いきいきバス、沼津地区：楽々バス）を引続き発売し、高齢者の利用促進及び高齢者福祉を図っている。 5. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6. 下田駅において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 9. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーパスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。 12. 引き続き、バス停デザインの統一化に取り組み、バス停コードを付与すること等により、「わかりやすいバス」を推進する。 13. 2023年12月に運賃改定を実施。
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1. エコドライブ(省燃費運転)を継続して取り組み経費抑制に努めている。 2. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。